

看護学部
ITO Emiko
PROFILE
<b>職名</b> 看護学部 看護学科准教授
<b>学歴</b> 千葉大学大学院看護学研究科看護学専攻博士前期課程修了（1995）
<b>学位</b> 修士（看護学）（千葉大学、1995）
<b>所属学会</b> 日本精神保健看護学会、日本看護科学学会、日本精神障害者リハビリテーション学会
<b>専門分野</b> 精神看護学

## 伊藤 恵美子

いとう えみこ

研究課題1 ● うつ病の患者と家族への回復及び再発防止に向けた援助の開発

研究課題2 ● 精神障がい者への支援における看護職の専門性と学際的多職種連携について

研究課題3 ● 慢性疾患をもつ患者とその家族の生活の質を高めるための援助

### 業 績

#### 【著書】

『成人看護学E. がん患者の看護 第3版』/『XⅦ 消化器がん患者の看護』、廣川書店、2006年3月、共著。

『成人看護学I. 成人看護技術 Ⅲ. 慢性疾患患者及びリハビリテーション患者の看護技術 第2版』/『リハビリテーション看護技術 Ⅷ. 筋力・筋機能回復訓練』、廣川書店、2003年2月、共著。

#### 【学術論文】

「新卒者の基礎看護技術習得度の分析」/『共済医報』Vol.41No.4、1992年11月、共著。

「尿失禁女性のsexualityへの影響を測定する質問紙の作成と信頼性および妥当性の検討」/『看護研究』Vol.29 No.5、1996年10月、共著。

「がん告知を受けた患者の主体的ながんとの共生を支える援助プログラムの開発に関する研究」/『日本がん看護学会誌』Vol.14 No.1、2000年9月、共著。

「老いと慢性病をもつことによる高齢者のセクシュアリティへの影響」/『聖路加看護学会誌』Vol.15 No.1、2001年6月、共著。

「慢性病をもつ高齢者の性に対する看護婦の認識」/『日本老年看護学会誌』Vol.6 No.1、2001年11月、共著。

「地域支援における精神障害者の危機に対する看護者の判断・実施過程の構造と特徴—入院に至る過程に焦点をあてて—」/『山梨県立看護大学紀要』Vol.6、2004年2月、共著。

#### 【国内学会発表】

「新卒者の基礎看護技術習得度の分析」/第40回共済医学会総会、1991年10月、共同。

「脳血管障害後遺症をもつ高齢者の社会復帰過程に関する研究—家族関係に焦点をあてて—」/第15回日本看護科学学会、1995年12月、単独。

「がん告知を受けた患者の主体的ながんとの共生を支える援助プログラムに関する研究—(3)がんとの共生を支える援助プログラムの作成—」/第20回日本死の臨床研究会、1996年11月、共同。

「がん告知を受けた患者の主体的ながんとの共生を支える援助プログラムに関する研究—(4)プログラム適用群と非適用群の比較による効果の検討—」/第20回日本死の臨床研究会、1996年11月、共同。

「がん告知を受けた患者の主体的ながんとの共生を支える援助プログラムに関する研究—(5)プログラムによってもたらされた変化および内容の評価—」/第20回日本死の臨床研究会、1996年11月、共同。

「慢性病をもつ高齢者の性に関する医師の意識」/日本老年看護学会第2回学術集

会、1997年11月、共同。

「慢性病をもつ高齢者の性に対する看護婦の意識」/日本老年看護学会第2回学術集会、1997年11月、共同。

「慢性病をもつ高齢者の性への影響—脳血管障害患者に焦点をあてて—」/日本老年看護学会第2回学術集会、1997年11月、共同。

「精神障害者への危機介入に関する文献研究—地域生活支援における看護者の役割を中心に—」/日本精神科看護技術協会第28回沖縄大会、2003年5月、共同。

「地域生活支援における看護職の危機介入に関する面接調査」/第11回日本精神障害者リハビリテーション学会、2003年9月、共同。

#### 【その他】

＜事典＞『看護学事典』/「患者教育」「患者理解」「癌性疼痛」「関節炎」「関節可動域」「関節可動域テスト」「感染」「感染症」「感染症サーベイランス事業」「がん予防」「緩和ケア」「緩和ケア病棟」「キーパーソン」「気管カニューレ」「気管内挿管」「気管内チューブ」「気管瘻」「危機のプロセス」「危機モデル」「キサントーマ」「義肢」「希死観念」「狭心症」「強直」「筋萎縮性側索硬化症」「クッシング症候群」「クモ膜下出血」、日本看護協会出版会、2003年5月、共著。